

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年5月26日
【四半期会計期間】	第25期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	パス株式会社
【英訳名】	PATH corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役 CEO 柴田 励司
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門五丁目1番5号
【電話番号】	03(6823)6011(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 村尾 正和
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門五丁目1番5号
【電話番号】	03(6823)6011(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 村尾 正和
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年3月11日に提出した有価証券届出書に記載いたしました「手取金の使途」の一部の「資金使途の優先順位」及び「支出予定時期」について、平成26年4月3日に変更が生じておりましたが、かかる変更の内容を平成26年8月11日に提出いたしました第25期第1四半期報告書（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）に記載していなかったことから、これを記載すべく四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(5) 発行済株式総数、資本金等の推移

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付しております。

第一部【企業情報】

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

(訂正前)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	342,500	8,639,300	24,389	835,591	24,389	838,593

(注) 1. 平成26年4月1日付で1株につき100株の割合で株式分割したことによる増加であります。

2. 新株予約権の行使による増加であります。

(訂正後)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	342,500	8,639,300	24,389	835,591	24,389	838,593

(注) 1. 平成26年4月1日付で1株につき100株の割合で株式分割したことによる増加であります。

2. 新株予約権の行使による増加であります。

3. 平成26年3月27日に発行した新株式及び第6回新株予約権に関して同月11日に提出した有価証券届出書に記載いたしました「手取金の使途」について下記のとおり、「支出予定時期」及び「資金使途の優先順位」に変更（以下「本件変更」という。）が生じています。

(本件変更の内容)

変更箇所は_____を付しております。

<変更前>

具体的な用途	金額	支出予定時期
・ 旅行事業・ 決済代行事業の運転資金	111百万円	平成26年3月～平成27年3月
・ 旅行事業の投資資金	96百万円	平成26年10月～平成26年12月
・ 決済代行事業の投資資金	100百万円	平成26年10月～平成26年12月
・ 借入金の返済	181百万円	平成26年3月～平成27年1月
・ メディカル関連サービス事業の投資資金	480百万円	平成27年1月～平成27年12月

(注1) 調達した資金につきましては、支出するまでの期間、普通預金にてリスクの低い適時適切な資金管理をする予定であります。

(注2) 現時点において想定している資金用途の優先順位は、上記、____、____の順であります。

(注3) 新株式の払込金額及び第6回新株予約権の払込金額による手取金については上記及び____の一部に充当いたします。また、第6回新株予約権の行使による払込金額は上記____の一部、____、____に充当いたします。

(注4) 上記投資資金の合計676百万円で投資を企図する会社の現段階で入手した決算書における営業利益の単純合計は約166百万円です。

<変更後>

具体的な用途	金額	支出予定時期
・ 旅行事業・ 決済代行事業の運転資金	111百万円	平成26年3月～平成27年3月
・ 旅行事業の投資資金	96百万円	平成26年10月～平成26年12月
・ 決済代行事業の投資資金	100百万円	平成26年10月～平成26年12月
・ 借入金の返済(注4)	181百万円	支払時期：平成26年3月28日
・ メディカル関連サービス事業の投資資金(注5)	473百万円	平成26年3月～平成27年12月
・ 「____借入金の返済」の付随費用等(注5)	7百万円	支払時期：平成26年3月

(注1) 調達した資金につきましては、支出するまでの期間、普通預金にてリスクの低い適時適切な資金管理します。

(注2) 現時点において想定している資金用途の優先順位は、上記、____、____の順であります。

(注3) 新株式の払込金額及び第6回新株予約権の払込金額による手取金については上記____の一部及び____に充当いたしました。また、第6回新株予約権の行使による払込金額は上記____の一部、____、____に充当いたします。

(注4) 上記____の借入金の返済181百万円につきましては、当初は返済期日に合同会社エージェンシーへの借入金の返済を行う予定でしたが、本格的な再建並び今後の財務体質の改善実施に備える為、合同会社エージェンシーへ元本一括繰上げ返済することを優先することが適切との判断に至り実施いたしました。

(注5) 上記____につきましては借入金の返済に伴う借入金利息4百万円と平成26年3月に発行された第三者割当による新株式及び第6回新株予約権の発行諸費用不足額3百万円を支出しております。なお、当該利息等に充当した7百万円につきましては、メディカル関連サービス事業の投資資金から同額を減じております。